



千葉 真也

工事部 取締役専務



さくら株式会社、株式会社三和鋼産、株式会社ユニー。この3社を一本化するにあたり、奔走する取締役専務を務める千葉真也。社員一人ひとりの話にしっかりと耳を傾けて個性や得意分野を把握し、それをもとに適材適所の人員配置に取り組んでいる真つ最中だ。2025年9月頃の一本化に向け、当社は今、大きな転換期に立っている。変革の一環である新工場設立、そして経営理念の「異体同心」について話を伺った。

願いを現実に！ 夢の新工場

「新工場設立の背景には、当社の発展がある」と、千葉は話す。会社が成長し仕事量が増えるにつれて、従来の賃貸工場は手狭になっていった。工場内は、製作物があふれ、人は10名ほどが入るだけで

増えていった。林の仕事ぶりは当社の社長である高橋にも高く評価され、いつしか直々に入社を打診されるようになったという。「林、うちに来てくれるってよ」。高橋からそう聞いた瞬間には、思わず大声を出してしまうほど嬉しかったのを覚えている。

心を震わせた言葉

当社の一員となつてからも、仕事に対する林の誠実さは一貫していた。多くを語らずとも思いを共有できる仲間と働けることは心地良く、偶然的な出会いで紡がれた絆を不思議な感慨をもって思い返すことがある。印象深いのは、仕事の件で相談に行ったときの話だ。「それは専務の仕事じゃない。そのくらいのことは私がするので、専務の仕事に集中してください。」「でも、林部長も忙しいだろう。これ以上は頼めないよ！」「専務の仕事がはかどれば、それ

狭くなり作業がしづらい。屋外で作業をする日もあったが、濡れては困る配管があるため、雨の日は作業が止まってしまふ。そのような状況下で、「新しい工場がほしいなあ……」というつぶやきが社員からこぼれるようになっていった。いつしかそれがしっかりとした声になり社内に広まり、「せっかくなら大きい工場を建てたい」「絶対に成功する！」「やるしかない！」と士気が上がった。「うちの会社なら余裕だよ！」という社員の声を聞いたとき、千葉は胸が熱くなるのを感じた。

土地を探しはじめて2〜3年が経った頃、運命の出会いが訪れる。「これを逃したら、次のチャンスはいつ訪れるかわからない」と、一同は勝負に出た。そうして2025年3月31日、念願の新工場が完成したのである。

は会社のためになります。ここは私に任せてください」。

林の力強い言葉に、千葉は心を打たれた。自分と同じ方向を向いてくれているのだと肌で感じ、会社の経営理念である「異体同心」の言葉が頭をよぎった。

「異体同心」を体現してくれる仲間は、林だけではない。その他のメンバーとのエピソードにも触れながら、千葉が理想とする当社の未来に迫る。

(後編に続く)

広さと設備で 激変する働きやすさ

35名がゆとりをもって作業にあたる新工場が完成した。長年の夢だった自社工場が現実のものとなり、社員たちはこれからの期待と活気に満ちあふれた。千葉も作業スペースの問題で泣く泣く断ってきた仕事で、これからは思う存分引き受けられると思うと自然と胸が高鳴った。

溶接機やポジショナー、天井クレーンといった積極的な設備投資



▲右から2課課長の鷲尾祐弥さん、千葉専務、2課主任の岩井翔一さん

出合いは偶然、 信頼は必然

も功を奏し、作業効率が大幅に向上。広いスペースを有効活用し、これまでの2倍もの仕事をこなせるようになった。

社員皆が心一つにして取り組む当社の経営理念は、「異体同心」。千葉と共に会社を支える仲間の一人に、部長の林がいる。出合いは2018年、業者に資材を注文したところ、最適なものを選定し、納入の際には気仙沼の現場まで足を運んでくれた営業担当者がいた。それが現在、当社で部長を務める林だった。配管に関する知識も豊富で、指示を出さずともこちらの要望をくみとり、わからない点があれば自分自身で調べて対応する……。林の姿勢は誠実そのもので、信頼を寄せるには長い時間はかからなかった。「この人と一緒に働けたら」と思う気持ちが、日に日に

企業情報

設立年：2012年4月

年商（さくら株式会社）：12.8億円

年商（さくらグループ全体）：17.2億円

※2025年3月決算時点



さくらよここ! 新入社員紹介

さくら株式会社に新たに3名が仲間入りしました!ぜひ、新しい仲間たちのことを知り、交流の輪を広げていきましょう!



出身地 宮城県
誕生日 12月6日
趣味
 家にある観葉植物のお世話や寄せ植えです。天気が良いときはドライブや、ママ友たちとカラオケなどに出かけます。

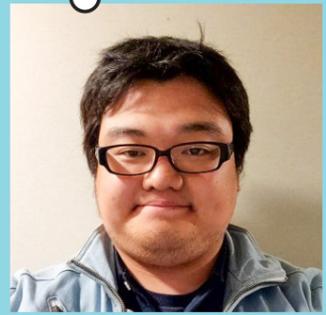
いしかわ まゆみ
管理部 総務課 石川 真弓さん

Q 前職
 パソコンの入力作業

Q 入社きっかけ
 定年退職を控えていたときに、友人からさくらの社長や会社の話を聞き、ぜひ働きたいと思ったことがきっかけです。

Q 入社して感じる会社の良いところ
 前職では時間に追われていましたが、さくらではじっくりと業務に取り組むことができ、周りの理解もあるため充実しています。

今後の意気込み
 私の仕事は、皆さんに「清潔・快適・心地良い空間」をお届けすることです。気づいていない汚れがありましたらぜひ伝えてください。



出身地 宮城県仙台市
誕生日 4月5日
趣味
 趣味はガンダムのプラモデル作りです。

かとう まさや
工事部1課 加藤 正哉さん

Q 前職
 冷凍庫の商品を各店舗に仕分けする作業

Q 入社きっかけ
 物作りが好きで知人の紹介により入社しました。

Q 入社して感じる会社の良いところ
 最初は緊張をしていましたが、作業で不明点があるときはわかるまで丁寧に教えてくれるので、安心して業務に取り組んでいます。

今後の意気込み
 早く仕事を覚えて、チームの一員として貢献できるよう頑張ります!



出身地 宮城県栗原市
誕生日 9月27日
趣味
 畑仕事

さとう としひろ
工事部 佐藤 俊博さん

Q 前職
 工場の施工管理(建屋、各種設備、廃処理管理)

Q 入社きっかけ
 会社の雰囲気が良いと思ったためです。

Q 入社して感じる会社の良いところ
 明るく元気だと感じました。

今後の意気込み
 一日も早く業務を吸収し、皆さんと一緒に活躍できるよう頑張ります。

目指すは年商50億円 異体同心で進む その先へ!

新たな仲間を迎え、社内はこれまで以上の活気に満ちあふれています。グループ年商50億円という大きな目標に向け、今こそ「異体同心」の理念が重要です。高橋社長が全社員に送る、未来への熱いメッセージをお届けします。



寺澤常務 高橋社長 千葉専務
 たかはし かずよし
代表取締役社長 高橋 和義さん

理念を体現している同志

自らの意思で「異体同心」を実践

特に印象深いのは、20年近い付き合いのある大坂工場長。会社の目指す方向性を理解し、私の思いを汲んで仕事に取り組んでくれる社員の一人です。まさに「異体同心」を体現する人。常に周囲の働きやすさを考え、全体を良い方向へ導こうと尽力する姿勢には、本当に感謝しかありません。「任せておけば大丈夫」という安心感を与えてくれる、ありがたい存在です。ほかに思い浮かぶのは、伊藤部長、林部長、鷲尾課長。自身の意思で理念を大切に、理念を口にして実践していると感じます。高い志を持って日々の業務に取り組んでいることを非常に誇らしく感じています。

社員に望む行動と心構え

見つめ合うのではなく同じ方向を向いて

私たちの仕事は、一人で完結するものではありません。チームで進める仕事が大半を占めるため、同じ方向を向くことが非常に重要。夫婦関係のように、互いに見つめ合うのではなく、同じ目的に向かい、共に歩いていくことが大切です。新入社員の皆さんは、例えて言うなら付き合い始めの恋人関係。まず自分という人間を知ってもらい、相手のことも知っていく段階です。そして共に仕事に取り組む際には、ほかの社員と同じ方向を向き、共に進んでほしいと願っています。

今後の成長への展望

「50億円」は実現可能な目標

企業理念を全社員で共有し、実践していくことで、会社はさらに成長できると確信しています。私たちの最終目標はグループ全体で年商50億円。以前は「とても無理だ」という声もありましたが、最近では「このメンバーなら達成できる」という意識が生まれています。理念が浸透すれば、今の若い世代が中心になる頃には、「高橋社長が言っていた50億円、今なら達成できる」と実感できるでしょう。今後は会社の統合も控えており、そのタイミングで新たなビジョンを打ち出す予定です。これをしっかりと共有することで、全社員が同じ意識を持ち、目標に向かって進んでいけるでしょう。新工場の完成も、この大きな目標に向けた重要な一歩。取引先からも「さくらはまだまだいけるね」と嬉しい言葉をいただきました。これに恥じぬよう、今後も業界を牽引する存在へと成長していきたいと思っています。

社員の皆さんへのメッセージ

社会に役立つ仕事に誇りを持って

「仕事」とは、突き詰めれば「人の役に立つこと」だと私は考えています。私たちが手掛けるのも、生活に直結し、社会に欠かせないインフラを支える事業。地域の皆さまの役に立つこの仕事に、誇りを持って取り組んでほしいと心から願います。そして一生懸命仕事に取り組み、力を高めればたくさんの素晴らしい出会いが生まれます。仕事を通して得られる人との縁は、皆さんの人生を豊かにしてくれるでしょう。私は、皆さんが仕事を通じて成長し、社会で活躍できる場を提供し続けます。

